

1 ソーラーパネルの設置と環境問題について

ただいまの ^{むらまつ} 村松 ^{いずみ} 和泉 議員のご質問にお答え申し上げます。

ソーラーパネルの設置と環境問題について、であります。太陽光発電などの再生可能エネルギーは、温室効果ガスの発生が少なく、2012年からは再生可能エネルギーの買い取り制度ができたこともあり、地球温暖化防止に貢献する低炭素の国産エネルギーとして全国に広く普及しています。

一方、太陽光発電所の建設においては、一定程度の広さの敷地が必要のため、村松議員のご指摘のように立地条件によっては、樹木の伐採を伴うこともあると認識しています。

本市では、太陽光発電所等の設置にあたり、「再生可能エネルギー発電設備の設置に関する指導要綱」という市のルールを作り、設置事業者に対し、開発協議、指導を行っているところであります。

これに基づき、自然環境や景観等への影響はどうか、排水施設や構

造物が適切に設置され、災害等を発生させるおそれがないか、近隣関係者の生活環境を保全するための適切な措置が考えられているかなどを確認し、周辺環境との調和に十分に配慮するようにしています。

今後も隣接住民への十分な説明と協議により合意形成を図るよう指導を行っていくとともに、土地利用について、行き過ぎた樹木伐採が生じないよう関係機関と協議を行い、環境保全と土地利用との調和が図られるように、引き続き指導に努めてまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、^{むらまつ}村松 ^{いずみ}和泉 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。